

岐阜市自然情報継続調査について



【調査等実施状況】

- ・平成 21～25 年度 「岐阜市自然環境基礎調査」を実施
- ・平成 26 年度 「岐阜市版レッドリスト・ブルーリスト 2015」作成
- ・令和元～3 年度 「自然情報調査」を実施
- ・令和 4 年度 「岐阜市版レッドデータブック・ブルーデータブック 2023」作成
- ・令和 5 年度 「自然情報継続調査」を実施

【継続調査の重要性】

R4.3 岐阜市自然環境保全推進委員会において、「近年の気候変動、地球温暖化の影響も考慮し、調査の継続が必要」と複数の委員から指摘を頂いた。

【R5 の調査体制・方針等】（予定含む）

9 分類群 8 部会を設置し、各部会ごとに、定点における調査や種を絞った調査、産卵期に特化した調査など、効率的な調査により、環境変化をとらえる。

植物、哺乳類、爬虫類、貝類、鳥類、昆虫類	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定点調査(月 1 回) ・ 情報不足種、外来種調査 など
魚類(甲殻類含む。)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミナミテナガエビ(7 月予定)気候変動要素 ・ カワバタモロコ(8 月予定)過去確認地点
両生類	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4 月以降岐阜市北部にて鳴き声調査 ・ 2 月以降卵塊を重点調査(産卵時期の変化)

【外部環境の影響】

- ・ 人間の影響による地球温暖化、気候変動に伴い、**豪雨が多発**
- ・ 河川の増水の頻発による、その生物に適した生息域、流域から、**流失、消失**するおそれ
- ・ **気温により性別が決定**される種にとって、気候変動は生殖への影響大



私たちの生活を支える生態系への影響を継続的に調査する必要がある。

【今後の活用】

- ・ 各分類群ごとに、調査結果をふまえた、生物多様性に迫る 4 つの危機(開発、手入れ不足、外来種、地球温暖化)を考察した報告をまとめ、委員会に報告する。
- ・ 「水生生物調査」、「アースレンジャー自然体験塾」、「生物多様性シンポジウム」等の環境教育において、最新情報を基に、気候変動等の影響をわかりやすく発信、周知・啓発する。
- ・ 将来的なレッドデータブック・ブルーデータブック改訂等において、蓄積した生物の生息・生育データを活用する